

中国珠海で「情人侶路」と称する通りから、夕暮れせまる町並み捉えた一枚である。

情人(ジン・レン)とは中国語では恋人のことである。「情人侶路(ジン・レン・リー・ル)」とは、恋人たちが寄りそって歩く道を意味し、英語表記では”Lover’s Avenue”となる。

中国人は何とロマンチックなのか。

写真の奥はマカオ(特別行政区)であり、画面の建物は、そのマンション郡である。

ラスベガスを凌ぐとも言われるカジノ併設・超豪華ホテルは、このずっと奥のマカオ中心部と、また、さらに橋を渡った島(タイパ)に林立する。

夜間、それも明け方まで、そこから放つネオンやレーザー光線は、珠海市内のちょっと高層の建物であればどこからでも見ることが出来る。

画面では海を挟んでいるように見えるが、(マカオー珠海)は陸続き(半島)である。

イミグレーション・カスタム・オフィスは画面の右側方向に位置しおり、両サイドの往来をコントロールしている。

因みに、香港は画面の左方向であり、ここからフェリーで約1時間の位置となる。

さて、この「情人侶路」は珠海のイーストコースに沿いマカオ・ボーダーまで延べ 28 キロにおよぶ遊歩道である。

種々の樹木と芝生の緑が南国の陽光とさわやかな海風のなかに光り輝くこの通りは、珠海のなかでも、私が最も好きな場所のひとつでもある。

今回の撮影に際し狙った訳ではない。

ところが、撮影した画面を見ると、寄り添って歩いている幾つかのカップルの姿があるではないか。

やはり、ここは文字通り”Lover’s Avenue”なのである。

